

城山校区・高橋校区の これからを考えるワークショップ - 第1回実施結果 -

日時：令和5年11月1日(水) 19:00～20:30
会場：西部公民館 大ホール
参加者数：33名（自治会、地域事業者、高校生、大学生等）
目的：持続可能なまちづくりを目指し、地域の将来を見据えて、地域の「いま」と「これから」を多世代で共有する。

<プログラム>

👋 アイスブレイク（自己紹介）

テーマ：「まちの印象の変化」

まずは自己紹介に併せて、参加者自身のまちとの関わり歴やその間の印象の変化について、改めて思い起こしてみました。



📋 地域の現状と住民アンケート結果の共有

校区の暮らしに関する居住者アンケートの結果を共有しました。また、校区の歴史や人口、施設、交通、災害危険性、地域行事について、資料を見ながら確認し、地域の特性について理解を深めました。



💬 意見交換

テーマ：地区の「いま」のポテンシャルと「これから」の期待について

地域の魅力やこれから活かしていける可能性があるものについて、意見交換を行いました。さいごに、参加者それぞれが「地区に残したいもの・活かしたいもの」と「『これから』の期待」について考えをまとめ、会場全体で共有しました。



10代～70代まで幅広い世代が交流し、とても有意義な時間となりました

参加者のみなさんが考える

地区に残したいもの・活かしたいもの

自然や伝統行事に関するものが多かったです！



地域の歴史・伝統・文化

地区の歴史
伝統・文化の継承
神社の祭り
だんだら提灯
なぐさみ舟
高橋音頭

季節の行事

坪井川鯉のぼり
凧揚げ

地域コミュニティ

地域や人々のつながり
人情、心の豊かさ
あかるい町づくり

自然環境・風景

自然豊かな環境
ちょうど良い田舎
のどかな空間
自然や田んぼが残る良好な景観

生活環境

利便性



多世代の交流、新旧住民の交流を重視する声が多かったです！

「ちょうどよい田舎」というフレーズがよく聞こえてきました！

地域の交流・多世代交流

- ・世代を超えて交流できる機会を守る
- ・こども達への説明・参加
- ・高齢者でも参加・お手伝い出来る工夫を！
- ・ポテンシャルである若い世代が引き継ぎ、担ってほしい
- ・若い年齢層がまた帰って来たいと思える町づくり
- ・大人からこどもまで交流できるような行事やイベントを増やしてほしい
- ・移り住んで来ている方と、これまで住み続けて来た方との共存
- ・こどもたちをみんなで見守る、認知症のお年寄りに声をかける、やさしい町
- ・地域の交流の拠点、生産者（農業者、漁業者）の生きがいくつくりとしての道の駅
- ・地域住民＋農・漁家＋企業＋行政の協力



自然環境・景観・住環境・防災

- ・西区の強みである豊かな自然を活かしたまちづくり
- ・過度な開発をせず、「ちょうどいい田舎」
- ・昔のようにホテルが飛ぶ町
- ・広い空、広い田んぼ、人のきずな・誇り
- ・ゆっくり時が流れる街
- ・山・川等自然と融合した野外イベント
- ・景観を活かした魅力発信
- ・自然災害との兼ね合いも考えるべき



生活利便性

- ・買物、病院、銀行等が近くにあれば便利
- ・飲食店を増やしてほしい
- ・大きなショッピングモールはなくても移動販売でよい
- ・医・食・住・教の安心安全が第一
- ・企業誘致し、人が集まり住む地域

「これから」の期待

城山・高橋でしかできないまちづくりを！

伝統文化の継承

- ・伝統行事を大切に、地域で盛り上げていく
- ・伝統的な行事に現代的な要素を取り入れつつ残していく活動
- ・神社とこどもたちとの係わり
- ・城山高橋博物館（仮）の設置（伝承）



公共交通

- ・バスの本数の増加
- ・無料バス、タクシー等でエリア内乗車（生活弱者を無くす）



Q ワークショップに参加した感想（有意義度について、5段階評価）

参加者平均 **4.52点！！**
（5.0満点中）



参加者の声

Q 印象に残ったこと、これから掘り下げていきたいこと（一部抜粋）

- ・長年住んでいるが、知らない事も多々あった。次世代への継承が大事。
- ・城山校区、高橋校区でも、その中で違いがあることがわかった。
- ・自分だけでは思いつかない発見があった。これまで住み続けて来た方と、新しく移住をして来た方との交流が続く仕組みについて考えていきたい。
- ・地域の価値についての見識を掘り下げて、地域で共有できるとよいと思った。
- ・全員がかならずしも発展（大手チェーンの出店など）を望んでいるわけではない。適度な田舎感も残してほしい。地域の方々が望む姿を掘り下げていきたい。
- ・まちづくりのための「山」や「川」の活用について考えていきたい。
- ・まちづくりの担い手の発掘が必要。

いろんな発見や再認識があったようです！